

令和5年度 プレジャーボートの放置艇対策の推進に向けた検討会について

1. 目的

国土交通省（港湾局、水管理・国土保全局）及び水産庁では、平成25年5月に「プレジャーボートの適正管理及び利用環境改善のための総合的対策に関する推進計画」を策定し、水域管理者等と連携して放置艇対策を進めてきた。

令和4年度に実施したプレジャーボート全国実態調査によると、放置艇数は着実に減少しているものの、水域によって様相を異にすることが分かった。

本検討会では、放置艇を巡る状況の確認・共有と合わせ、これまでの対策の評価並びに今後の対策の方向性について検討することを目的とする。

2. 検討会の進め方

- ・ 有識者や関係行政機関で構成する「プレジャーボートの放置艇対策の推進に関する検討会」を今年度計4回開催し、放置艇対策の今後の方向性について取りまとめる。
- ・ 会議は対面式での実施を基本とし、必要に応じてインターネット配信を行う。
- ・ 検討会は原則、公開とする。ただし、会において率直な意見の交換を行う目的から、座長が認める場合は、この限りではない。

3. 構成員

- ・ 検討会是有識者（学識経験者、業界団体）及び行政関係者によって構成する（別紙参照）。
- ・ 検討会には座長を置き、座長は会を運営し、これを取りまとめる。

4. 事務局

国土交通省港湾局海洋・環境課港湾環境政策室

5. 協力機関

（一社）日本マリーナ・ビーチ協会／（株）地域開発研究所

以上

令和5年度 プレジャーボートの放置艇対策の推進に向けた検討会
委員名簿

【有識者】

(敬称略、順不同)

氏名	所属・役職	備考
來生 新	神奈川大学 海とみなと研究所 上席研究員 横浜国立大学名誉教授・放送大学名誉教授	
嘉藤 亮	神奈川大学法学部教授	
小川 昭	(一財)日本海洋レジャー安全・振興協会 企画振興部長	
佐伯 誠治	(一社)日本マリン事業協会 専務理事	
八鍬 隆	(一社)日本マリーナ・ビーチ協会 代表理事・理事長	

【行政関係者】

氏名	所属・役職	備考
安原 由純	岡山県土木部港湾課長	港湾管理者
丹 直美	東京都建設局河川部河川管理制度担当課長	河川管理者
池田 博文	高知県水産振興部漁港漁場課長	漁港管理者
江口 大暁	国土交通省 水管理・国土保全局 水政課長	
尾松 智	国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 河川保全企画室長	
江頭 博之	国土交通省 海事局 船舶産業課 船舶産業高度化基盤整備室長・舟艇室長	
大嶋 孝友	国土交通省 海事局 検査測度課 検査監督・登録測度室長	
中川 研造	国土交通省 港湾局 海洋・環境課長	
松浦 あずさ	海上保安庁 交通部 安全対策課長	
中村 隆	水産庁 漁港漁場整備部 計画課長	